

# まにわ恭子 VOL.46 NEWS LETTER

発行日/2015年3月23日

発行者/まにわ恭子 <http://www10.ocn.ne.jp/~ikiiki>

馬庭恭子事務所・まにわ恭子後援会

〒730-0051

広島市中区大手町2-5-11-204

TEL/FAX 082-541-3151

ikiikihiroshima@lily.ocn.ne.jp

広島市議会議員控え室

TEL 082-504-2616

FAX 082-244-1620

Maniwa-k@giin.city.hiroshima.jp

## 恭子の議会つれづれ



**時**間が経過するのは早く、世界の状況も刻々と変化してきています。特にインターネットの普及は世界を変えました。戦争が生中継され、IS (イスラム過激派組織「イスラム国」)によるおぞましい画像をお茶の間で見ざるを得ない時代になりました。便利になったことでもあります。一方、運用を間違えれば個人情報漏えいといったことも起こってきます。

**議**会活動においても、インターネットを駆使すれば、他の政令都市との比較も簡単です。難しい専門用語も分かりやすく解説されていて大助かりです。2014年8月の広島土砂災害に関する検証で、ICT(情報処理および情報通信)を駆使した気象情報を私たちは簡単に手にすることができることも理解できました。

**地**域でおこる犯罪の情報は、メールで手元の携帯電話に受信し、さらに保存しておくこともできます。しかし、すべての市民が様々な情報を得られるというわけではありません。ですから、どこにいてもどんな状況でも確かな

情報を伝達することは、災害時に限らず生きていくために必要です。それには地域のなかで細かくていねいにつなぐことがなにより大切だと思います。それは人と人とのネットワークです。町内会、女性会、子供会の組織率は低下している中、これをどうつなぐのかが課題となります。

**私**は同じ価値観をもつ個人と個人だけでなく、高齢者と若者、子どもといった異世代交流が深まっていくようにしなければならぬと考えています。被爆者の方々の語りを遺そうと高校生が活躍していることは、異世代から学ぶことがあると若者が気づいているからだだと思います。

**被**爆70年を迎える8月まであと5か月となりました。今年度予算案には被爆70年記念事業として、30余りの事業計画が提出されています。しかし、事業とは別に気がかりなことがあります。それは『かき船』を平和公園の側面、原爆ドームのすぐそばに移設することです。被爆70年を迎えるこの時期にそれはしないのではないで

しょうか。

**市**長は「かき船を移設することで、かきの食文化と

同時に平和を発信することができる」と説明しています。私は、かきの食文化を否定しているのではありませんが、世界遺産である原爆ドーム、原爆ヒロシマの碑がある河岸になぜ?と首をかしげたくになります。ヒロシマの体験した悲惨な出来事を繰り返さない誓う場所に、宴会などある『かき船』を移設することは川底に眠る死者への鎮魂にはならないと思います。

**私**は予算特別委員会で様々な視点から移設再考を求めるよう促しました。被爆体験のある議員や平和団体から支持を得ている議員も「やっぱりあの場所には…」と賛同してくれましたが、行政側の対応は聞く耳持たずといった感じでした。市長選挙ではこのこともひとつの争点となるとよいと思います。

### 市議会 こぼれ話

2月議会に引き続き予算特別委員会(以下、『委員会』という)が始まりました。今年度は委員会の副委員長だったので、私は委員会運営と質疑で目が回るような日々を過ごしました。委員会での行政側のメンバーは日替わりで、しかも答弁する課長等の部署名称が長いので脳トレが必要です。座席名簿をみながら、担当者が自分で名乗ってくればいいのかと思いつつ、顔と名前を照らし合わせて「〇〇担当課長」と「〇〇議員」とタイミングよく進行していくのです。質疑の内容を「なるほどそういう切り

口もあるよね。」と感心して聞いていると挙手している課長を当て忘れたりして(笑)

今年度の委員会は質疑にたつ議員が少ないのが特徴でした。それはみんなく選挙のことが最優先で、心ここにあらず状態だからです。出席者も6割と少ないのが実態です。今後4年間の生活が決まるわけですから、選挙を優先させたい気持ちもわかりますが、市民のみなさんは「広島市のためにしっかり仕事してください!!」と投票して下さったのですよ。裏切っていないでしょうか? 結局、ガッツリ、質疑に一番多く登壇したのは、おばさんパワー炸裂の私でした。

# 予算特別委員会 2015年 2月 25日～3月10日

予算特別委員会の副委員長を務めました。  
積極的に質疑もしました。



## 《建設関係》

### 『かき船』の移設について

原爆ドームという世界遺産近くの景観をどう考えていますか？

原爆ドームのすぐそばの川の上に浮かぶ船舶が幅を取って川面を占有すると風景が変化すると思いますがどうでしょうか？

### 質疑

また景観が変化するならば景観審議会に諮る必要があると思いますがいかがでしょうか？

- きわめて重要な景観であると認識しています。
- 風景については、大いに変わると思います。
- 家のように土地に根をはって固着していないし、船なので例外となり、審議にかけることはしませんでした。

かき船の実際の大きさ  
20<sup>m</sup>(長さ)×9.5<sup>m</sup>(高さ)×5<sup>m</sup>(幅)

このような大きな船がくると対岸が見えません!!

### 私のコメント

景観が大きく変わると考えるのなら、きちんと有識者などにもはかり、説明を市民にもする必要があります。「土地に固着していない」という法の抜け穴をついていると思われても仕方ありません。こういう姑息な手段は使わないことです。



## 《文教関係》

### 学校給食について

肥満児は小・中学校でどのくらいいますか？また肥満を予防するために、しっかり噛んでゆっくり食べることが大切ですが、指導はどのようにしていますか？和食を多く取り入れるべきと考えますが、いかがですか？

### 質疑

- 肥満児は、小学生：1240人(1.9%)、中学生：426人(1.5%)となっています。
- 毎年6月の『歯と口の健康週間』には噛むことを意識付けるよう、啓発をしています。
- 毎月19日を和食の日にする・週2~3回は麦ごはんにするなど、献立に工夫をしています。

### 私のコメント

違う学年や地域の方々と交流を持ちながら食べたりするのもひとつの工夫であると思います。また給食時間に学校栄養職員が教室を訪問して話をしたり、担任が献立のねらいについて話をすることで、生徒は食生活(給食を含む)が健康に深く関わり、食に興味や関心を持つのではないのでしょうか。

### 英語教育について

### 質疑

国において小学校教育に係る検討が行われています。私は小学校1年生から英語教育に取り組むべきだと考えますがいかがでしょうか？

- ひろしま型カリキュラムで小学校5・6年生は英語科を実施しています。
- 国は、平成28年度に学習指導要項を改訂し、平成32年度に小学校3年生から英語教科を全面实施するという制度の大枠を示しています。

### 私のコメント

英語教育は国の指針を待つまでもなく、グローバル化を目指して早めに取り組みを！さいたま市は来年度から、小学校1~6年生まで英語の授業を始めることになっています！

質疑

レストハウスの改修にあたり『大正呉服店を保存する会』の方々に意見を聞きましたか？

- 以下のような意見をいただいています。
  - ①中島地区ゆかりの者にとっては唯一の建物であり残して欲しい。
  - ②レストハウスの名称を「爆心地記念館」と改める。
  - ③被爆前の繁華街中島地区の街並みを展示するなどして、生活の証しとパノラマも展示する。
  - ④ゆったりとした休憩場所にして欲しい。



私のコメント

市民の意見を前もって聞くということが大切です。

《総務関係》

ピースボランティアについて

質疑

ピースボランティアは平和記念資料館内や屋外(碑めぐり)での移動解説をしています。内外の来訪者に対応するためにしっかりと教育をして、さらに語学も研修していく必要があると考えますが実態はどうですか？

- 実働登録者は216人、平均年齢は63歳で最高年齢は86歳、最年少は20歳です。英語で案内できる人は42人いますが、これまで語学研修はしたことがありません。語学力の底上げを図るため語学研修の実施について考えてみます。

私のコメント

もうひとつの負の世界遺産であるポーランドのアウシュビッツにはエキスパートガイドがいます。試験に合格した人です。私は資料館の入館料(50円)を値上げし、その原資をもってガイドを育成していくことを提案しました。長崎の原爆資料館の入館料は200円です。

《厚生関係》

地域包括ケアシステムについて

質疑

介護保険にともなう地域包括ケアシステムの構築などに対応するために、市職員を11人増員していますが、職種と部署はどのようになっていますか？

- 本庁担当部2名、介護保険課1名、健康長寿課1名ずつ(8区)に配属です。職種は事務となっています。

私のコメント

机の上で仕事をする事務ではなく、地域に出かけて仕事をするプロ（保健師）を雇用しないと意味がないのでは？広島県23市町の中で人口10万人あたりの保健師の割合は広島市が最低です。



# 新白島駅

アストラムライン・JRの新白島駅が完成しました

ふたつの連結がスムーズになり、雨に濡れることなく移動ができます。地域住民の方の熱い気持ちが実りました。



現場に足を運びます！



政策提言は大事！



市民の方の話を聞きます！



報告します！

だれも孤立しないまちづくりをめざして  
医療・介護・福祉のプロとして がんばってます

これまで実現したこと

《医療》\*がん医療の推進（緩和ケア外来・医療サロン等の整備等）\*女性外来の設置 \*乳がん検診新機器導入《子ども》\*病後児保育の拡充 \*社会的養護の必要な児童の支援 \*スクールソーシャルワーカーの増員《福祉》\*介護保険料の見直し実現 \*特別養護老人ホーム待機人数のHPでの公開《安心》\*DV防止センターの設置推進《議会》\*海外視察報告をHP上で公開することをルール化

\*費用弁償(日当)は受け取らず、法務局に供託しています。

\*公費での海外視察に反対。私費で行っています。

\*すべての議会で無遅刻、無欠席。毎議会報告のニュースを発行しています。

### 負担の少ない介護へ

- ・認知症への理解を深める啓発活動
- ・介護職員の支援・研修活動の充実
- ・ケアする全ての人へのサポートセンター

### 孤立を防ぐ福祉を

- ・高齢者・障がい者の就業支援
- ・被災者への心のケアの充実
- ・産前・産後のサポート体制の推進

### 街の活性化にむけて

- ・地元密着型商店街の活性化
- ・中小零細企業の支援

### 質の高い医療を

- ・在宅医療の推進・介護との連携
- ・がん・難病支援の体制づくり

### 安心できる社会に

- ・高齢者虐待・障がい者虐待の防止
- ・経済的困難を抱える子どもの支援
- ・空き家・ごみ屋敷対策

### 広島から平和発信を

- ・平和学習・被爆証言の継承支援
- ・長崎・福島・沖縄との連帯

ご友人、お知り合い、ご親戚をご紹介いただけませんか？例えば選挙期間中に『選挙はがき』をその方々宛に書くことができる等、ご協力いただける場合は、後援会まで、電話、FAX、メール等でご連絡ください。



## 私たちは応援しています！！



聖路加国際病院 名誉院長  
日野原重明さん



評論家  
樋口恵子さん



臨床社会学者  
春日キスヨさん

### ●カンパのお願い

後援会にカンパしていただけると助かります。1口千円で何口でもお願い致します。

◎郵便口座番号 01310-1-74320 まにわ恭子後援会

### ●ニュースレターをEメールでもお送りします。

メールでの送付をご希望の方は、まにわ恭子HP (<http://www10.ocn.ne.jp/~ikiiki>) から直接メールでお申し込みください。

### まにわ恭子後援会

〒730-0051 広島市中区大手町2-5-11-204 TEL&FAX 082-541-3151

E-mail [ikiikihiroshima@lily.ocn.ne.jp](mailto:ikiikihiroshima@lily.ocn.ne.jp) <http://www10.ocn.ne.jp/~ikiiki>



はるぜん  
グランリレー  
二階